

エヴェレスト 神々の山嶺 (2016)

メディア 映画

ジャンル ドラマ アドベンチャー

製作国 日本

時間 122分

初公開日 2016/03/12

公開情報 東宝=アスミック・エース

映倫 G

【キャッチコピー】

生きて、必ず帰る

【解説】

人気作家・夢枕獏の傑作山岳小説を「永遠の0」の岡田准一と「テルマエ・ロマエ」の阿部寛主演で映画化。伝説の登山家マロリーが持っていたカメラが縁で出会った山岳カメラマンと孤高の天才クライマーが、世界最高峰のエヴェレストで前人未踏の過酷な挑戦に臨む姿を描く。共演は尾野真千子、ピエール瀧、佐々木蔵之介ほか。監督は「愛を乞うひと」「太平洋の奇跡ーフォックスと呼ばれた男ー」の平山秀幸。

1993年、ネパールの首都カトマンドゥ。山岳カメラマンの深町誠は、参加した日本のエヴェレスト遠征隊が2人の犠牲者を出して中止に追い込まれ、写真集の計画も白紙となってしまう途方に暮れる。失意の中、ふと立ち寄った骨董屋で古いカメラを見つける。それが、1924年にエヴェレスト初登頂に挑んだイギリス人登山家ジョン・マロリーのものかもしれないと気づく。するとそこに2人の男が現われ、そのカメラは自分たちから盗まれたものだと言主張し持って行ってしまふ。なんと2人組の片方は、数年前に消息を絶った天才クライマー、羽生丈二だった。帰国した深町は羽生の過去を調べ始め、やがて羽生との登山中に命を落とした岸文太郎の妹・涼子と出会う。文太郎の死をきっかけに2人は付き合い始めるが、羽生は突然姿を消してしまったという。そんな羽生のことが忘れられない涼子。深町は羽生がネパールにいる目的を突き止めるため、涼子を連れて再びカトマンドゥへと向かうのだったが…。

【クレジット】

監督	平山秀幸
企画・プロデュース	高秀蘭
製作代表	角川歴彦
エグゼクティブプロデューサー	井上伸一郎 平野隆 豊島雅郎
プロデューサー	井上文雄 岡田有正
プロデューサー補	山本英之
原作	夢枕獏
脚本	加藤正人
撮影	北信康
美術	中澤克巳
編集	洲崎千恵子
キャストイング	川村恵

『神々の山嶺』
(角川文庫・集
英社文庫)

音楽	加古隆		
音楽プロデューサー	水田大介		
主題歌	イル・ディーヴォ	IL DIVO	『喜びのシンフォニー』
照明	渡部嘉		
録音	小松将人		
VFXスーパーバイザー	長谷川靖		
スク립ター	古谷まどか		
助監督	吉田和弘		
プロダクション統括	椿宜和		
山岳監修	八木原國明		
出演	岡田准一		深町誠
	阿部寛		羽生丈二
	尾野真千子		岸涼子
	ピエール瀧	Pierre Taki	宮川
	甲本雅裕		井上真紀夫
	風間俊介		岸文太郎
	山中崇		斎藤
	田中要次		
	塚本耕司		
	外波山文明		
	綾田俊樹		
	荒谷清水		
	林家彦いち		
	伊藤洋三郎		
	ティンレイ・ロンドウップ		アン・ツェリン
	佐々木蔵之介		長谷渉